

心の財 第一なり

「蔵の財たからよりも身の財たからすぐれたり。身の財たからより心の財たから第一なり」といいます。人間には三つの財があるということです。

第一は「蔵の財」。これは財産とか、お金のことで、生活していくためになくてはならないものです。

第二は「身の財」。これは身体の健康のことです。健康だからこそ十分に働くこともできるのです。

そして第三が「心の財」。心の健康のことです。心が曲がるとその行いもふるまいも邪よこしまなものとなります。

行われます。山内の住職始め、高校生・専修学院生・大学生・詠歌衆・稚児大師をまつる花御堂を引く稚児や、大師音頭の踊りの列など多彩な慶讃行事が行われます。

◎ 子供は何でも聞きたがる

幼い子が何でも質問したが、答えるともた次から

次とへと聞いてくるのは、今も昔も変わりません。

「おじいちゃん、鶴は千年生きるってほんとう？」

「そうだよ、鶴は千年、亀は万年といっつて、とても長生きするんだよ」

「それで千年たったら、どうなるの？」

「千年たったら死んでしまうね」

「死んだらどうなるの？」

「死んだら極楽というところへ行くんだよ」

「極楽へ行つて、どうなるの？」

「おじいちゃん、とうとう答えるのが面倒くさくなって、

「極楽で、蠟燭ろうそく立てになるのさ」

小話集より

●もう、大丈夫。

そう考えるときが一番危ないとき。

仏教が生んだ日本語

達者 (たっしゃ)

「達者」は、健康なさまを意味する言葉として日常よく使われる。また、芸達者と言う場合は、その芸の達人を意味する。これも元は仏教語で、真理に到達した覚者を表す言葉である。学ぶべきことを学び終わり、真理に到達して心も身体も健康な者から現代の意味に転じたのであろう。

青葉祭

六月十五日は、弘法大師の誕生日です。高野山では、大師の誕生を奉祝する行事が盛大に



28日 第2団(相模・埼玉・群馬支所) 東日本大震災復興祈願心経会



空海の言葉 シリーズ

鴻雁こうがんの序ついである如く

羣生ぐんじょうを利済りさいすべし。

●●雁の群れが順序よく飛んでいるように、群衆を導け

弘法さんは、「リーダーは部下たちと仲よく平等にするだけでなく、いざ行動するときは、日ごろから上下の序列をつくって、訓練しておくように教育しなさい」と、いわれているのです。